

令和2年度

天塩川シーニックバイウェイ 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 天塩川シーニックパイウェイ	報告者: 天塩川シーニックパイウェイルート運営代表者会議	2021/5/11
----------------------	------------------------------	-----------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R2					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
景観	自然環境と地域特性を活かした魅力ある景観づくり	広域的で良好な周遊観光ルートの形成 (主に、ルート内での取組み)	メインコース周辺の景観整備	(ツアー等ができなかった ので、実施無し)	-	-		<ul style="list-style-type: none"> ●各市町村の商工会等を中心に、沿道の花植えを実施し、安心・安全・快適なおもてなしの道づくりを目指し、継続的に実施。 ●コロナによる感染拡大防止対策を考慮しながら、各地域で花植えや清掃活動が実施された。
			ルートの景観診断	(ツアー等ができなかった ので、実施無し)	-	-		
			花植え活動、除草、清掃活動	各団体にて(市町村、観光協会、商工会、地域団体等)	夏期:6月~10月末頃	各地域により		
地域	地域特性と歴史・文化を活かした地域づくり	歴史・文化と森林文化の活用	森林資源の活用	きた北海道エコ・モビリティ、 ルート運営代表者会議	7月~10月末まで	-		<ul style="list-style-type: none"> ●地域に根付き、末永く愛着を持ってもらえるよう、地元木材を利用したオリジナルサイクルラックを地元で作成し、コースを中心に設置した(主に道の駅※前年度から継続)。また、新たな設置の要望箇所には、販売も行い、普及に努め、サイクリングコース上に同じラックが点在するようになり、統一感が出た。 ●地域の魅力を伝えながら、安全に適切な案内ができる地域のサイクリングガイドとなる人を募り、TEPPEN-RIDEのコースの確認等の実走を行った。サイクリングのツアーガイドの養成講座を実施した。当日は、これまでの地元サポートライダーが講師となり、コース概要の説明や案内を行い、彼らの更なるスキルアップ向上を目指した。参加者とのお互いの地域での状況なども共有できた。 ●コロナ感染対策にも十分に配慮しながらの実施とし、今後どのような状況においても、工夫しながら実施できるような手法の検討を行った。 ●新たなサポートライダー(候補)として10名も仲間が増えた。コース全体でのサポート体制が強化できた。 ●地元でのサイクリストも増えてきているため、今後もサイクルガイドの広がりに期待できる。今後はルート内のガイドを登録しHPなどで紹介するなど、広めていく工夫を行う。 ●きた北海道サイクルツーリズム連携協議会との連携を深めつつ、よりよいイベントの実施を目指す。
			地域ガイドの発掘・育成～ TEPPEN-RIDEサポートライダーライドの実施	ルート運営代表者会議、宗谷 シーニックパイウェイ(きた北 海道エコ・モビリティ)	<南部>9/21・22 <北部>10/2・3	新規ライダー候補 参加者:10名 スタッフ:10名 他関係者:11名	T - 1	
			「森林」&「水」の教育 (ミズベリング)	実施中止	-	-		
			「松浦武四郎」にまつわる地域の 文化伝承 (武四郎ライド2020)	なよろ観光まちづくり協会、 (協力:ナカガワサイクリングク ラブ他)	10/10(土) 9:00~15:00	参加者30名		

観光	地域産業と特性を活かした広域的な観光空間づくり	きた北海道エコ・モビリティ事業の推進 (主に、ルート内外を視野に入れた取組み)	地域ガイドの発掘・育成～ TEPPEN-RIDEサポートライダーライドの実施	ルート運営代表者会議、宗谷 シーニックバイウェイ(きた北 海道エコ・モビリティ)	<南部>9/21・22 <北部>10/2・3	新規ライダー候補 参加者:10名 スタッフ:10名 他関係者:11名	T - 1	<p>●コロナの影響によりTEPPEN-RIDE及び他予定していたツアー等は、全て実施中止となった。次年度に5回記念開催を目指し、サポート体制強化のためのライダーライドを実施した。(実施内容・成果等は、上記項目に同じ)</p> <p>●コロナ禍でもできることを考え、情報発信の強化として、パンフレットの作成を行った。道北観光連盟との共同のパンフレットで、道北WSで確定した共通キャッチコピーや写真等を使い、相互配布による効果が期待できる。</p> <p>●2021年4月に「秀逸な道」の認定を受けたため、他ページの修正作業にあわせて、パンフレットの表紙も「秀逸な道」の写真を使用し、紹介文とあわせて、周知のための広報第一弾として差し替えを行った。(現在作成中)</p> <p>●共通で使用できるルートロゴを使用した名刺の作成、パンフレットの作成を行った。ルートPR、新たな仲間の増強、活動への参画、ルートに対する意識醸成を図った。</p> <p>●今年度は、新たな情報拠点の設置までには至らなかったが、情報が入手しやすい主要地点となる場所での情報拠点の設置を検討したい。また、シーニックカフェ・シーニックデッキ等への登録をするなど、快適にルート内周遊に向けた取組も強化していきたい。</p>
			情報発信の強化 (PRイベントの実施)	(物販とあわせて検討 していたが コロナで実施中止)	-	-		
			勉強会等の開催 (道北ブランディングWS)	上川総合振興局、道北観光 連盟	10月19日	30名		
		ルート内連携による情報発信	ルートオリジナルロゴの作成 (ロゴの活用)	ルート運営代表者会議	通年	-		
			情報発信の強化 (パンフレットの作成)	ルート運営代表者会議、 道北観光連盟	～2021年3月末 (修正中～5月発行)	-	T - 2	
			各地イベントでのルートPR (PRイベントの実施)	(各地域でのイベントも ほぼ全て コロナで実施中止)	-	-		
			情報拠点の設置 (よろーな)	ルート運営代表者会議	通年	-		
			「道北シーニックバイウェイ 連携フォトコンテスト」の作 品巡回パネル展	天塩川シーニックバイウェ イ ルート運営行政連絡会議	7月13日～7月27日 駅前交流プラザよ ろーな 9月8日～9月28日 道の駅けんぶち	-		
		地域産業の活用	ご当地グルメの開発	-	-	-		
			道の駅との連携	-	-	-		
		広域的で良好な周遊観光ルートの形成 (主に、ルート内での取組み)	メインコースの設定	(ツアー等ができなかったの で、実施無し)	-	-		
			ツアーの実施	(ツアー等ができなかったの で、実施無し)	-	-		

天塩川シーニックバイウェイ

Teshio River Scenic Byway

活動名：地域ガイド発掘・育成のための

TEPPEN-RIDEサポートライダーライドの実施
(きた北海道エコ・モビリティ事業の推進)

【概要】 広域サイクリングイベント「TEPPEN-RIDE」は、2019年度まで4回実施（年1回）し、様々な団体・企業等との連携を広げながら、継続的に実施してきた。年々参加者も増え、リピーターによる期待も高く、地域の魅力を伝えながら、**安全に案内できるサポートガイド**の需要が高まっている。また、2020年度は、新型コロナウイルスの影響により実施はできなかったが、今後は、**感染拡大防止対策を最大限配慮した手法の検討**も念頭に、どのような状況化においても安全・安心して実施できる運営構築が望ましい。それらを踏まえ、地域サポートライダーガイドとなりうる潜在的な人材の発掘・育成、サポート体制の構築を目指し、当日をイメージしたコースの実走を行い、路面や交通状況、ビューポイント等の確認のためのライドを実施した。
★両シーニック外の旭川や豊富のガイドも増え、エリア全体でのサポート体制強化に繋がった。より一層のサポート力の向上を目指すとともに、きた北海道サイクルツーリズム連携協議会との連携を深め、新たな体制で次年度の開催を迎えたい。

【日時・場所】 <南部エリア>

9月21日（月祝）・22日（火祝）
天塩川SBWエリア
(旭川～比布/和寒/剣淵/土別～名寄)

<北部エリア>

10月2日（金）・3日（土）
天塩川SBW+宗谷SBWエリア
(中川～幌延/豊富～稚内)

【主催】 きた北海道エコ・モビリティ
(天塩川SBW・宗谷SBW)

【参加人数】 ライダー参加：全10名（各エリア5名）
その他（関係者、道路管理者等）：11名
TEPPENスタッフ：全10名



▲休憩ポイント毎に気づいた点をヒアリング



▲マスク着用とディスタンスを保った走行



▲新たな屋食会場・ディスタンスを保った食事方法の検証



▲新たなコース、ビューポイントの検証

天塩川シーニックバイウェイ

Teshio River Scenic Byway

活動名：情報発信の強化～ルート情報パンフレットの作成

【概要】 シーニックバイウェイの周知徹底と活動内容のPRのため、指定ルートの年に作成したパンフレットの内容を見直しを行い、現在の活動内容を反映したパンフレット改訂版を作成した。地域情報・資源等を集約し、道北観光連盟との共同パンフレットとし、反対側からは連盟での取り組みなどを紹介とした。

★2021年4月、「秀逸な道」の認定を受け、シーニック側の表紙に「秀逸な道」のPRを兼ねた「幌加内町のそばの花ビューポイント」の写真を使用し、周知に繋げるよう工夫した。作成したパンフレットは、道北地域の主要施設や観光協会その他、地域外での効果的な配布箇所の検討を行う。

【実施】 2021年3月末：修正を含めて5月末発行

【発行】 天塩川シーニックバイウェイ、道北観光連盟
＜初版印刷部数：15,000部＞

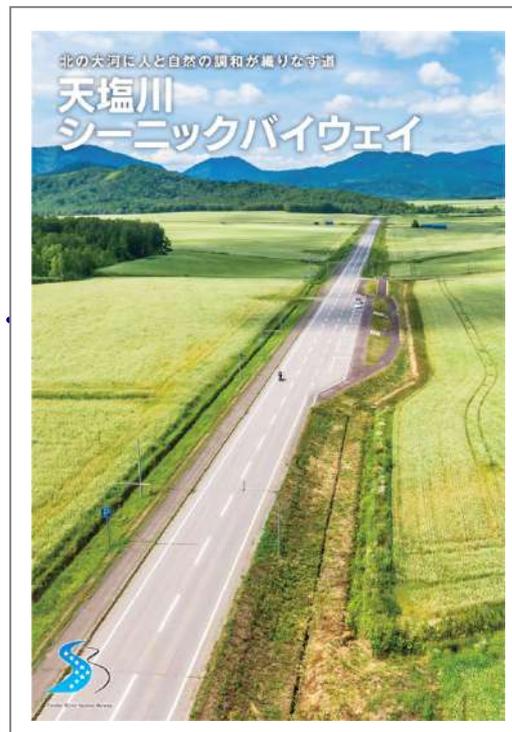
【構成】 全14頁＜A4サイズ・冊子型／全面カラー＞



▲反対面の表紙：道北観光連盟
どちらから開いても楽しめる



▲左頁でルート概要とエコ・モビリティを写真付きで説明、右頁で実際に施している主なイベントを紹介した。

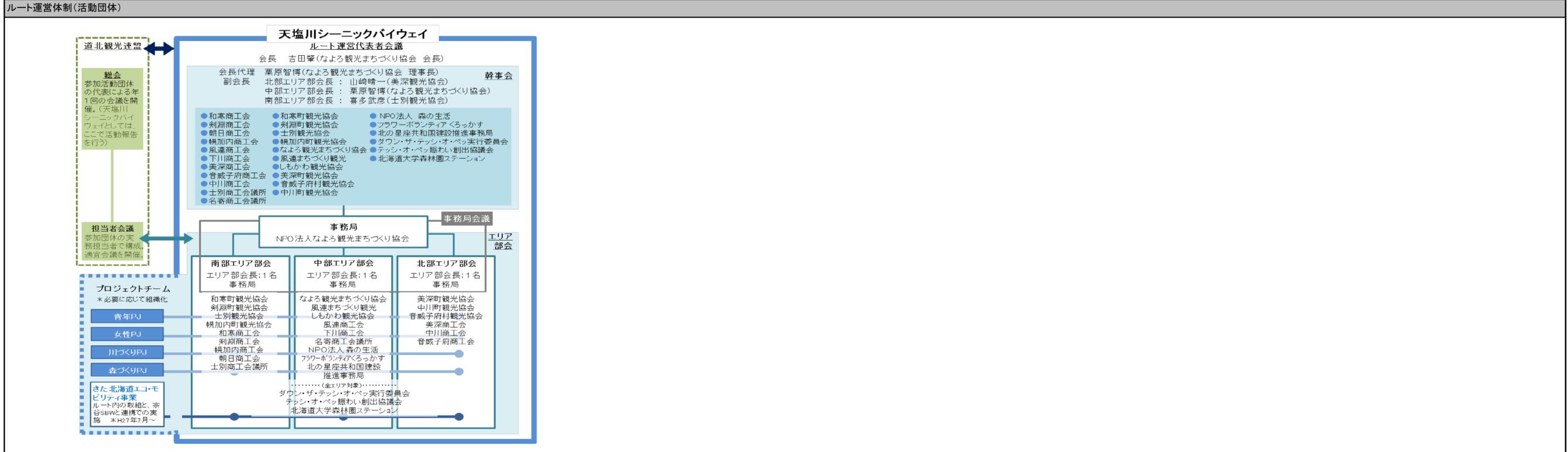


▲表紙に、当ルートの秀逸な道（幌加内町新成生）のそばの花
開花時期の写真を使用し、下段にキャプションを追加して、
場所と見どころを紹介した。

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 天塩川シーニックバイウェイ	報告者: 天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議	報告年月: 2021/5/11
----------------------	------------------------------	-----------------

活動団体
 和寒町観光協会／和寒町商工会／剣淵町観光協会／剣淵町商工会／士別観光協会／士別商工会議所／朝日商工会／幌加内町観光協会／幌加内町商工会／NPO法人なよろ観光まちづくり協会／NPO法人風連まちづくり観光／名寄商工会議所／風連商工会／NPO法人しもかわ観光協会／下川町商工会／美深町観光協会／美深町商工会／音威子府村観光協会／音威子府村商工会／中川町観光協会／中川町商工会／NPO法人森の生活／フラワーボランティアくろっかす／北の星座共和国建設推進事務局／ダウン・ザ・テッシン・オ・ベツ実行委員会／テッシン・オ・ベツ賑わい創出協議会／北海道大学北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に関わる事項	ルート運営代表者会議			●6月下旬										※コロナの影響により開催時期等の延期、及び、書面による開催に変更などあり
	ルート幹事会、事務局会議			●6月上旬			●9月上旬 (TEPPEN打合)		●11月上旬					
	ルート担当者会議			●6月中旬					●11月中旬 (次年度計画等)					
	その他		●5/13 道北フォトコン連携会議			●8月上旬 ルートきた北海道サイクルツーリズム連携協議会上川(TEPEN開催関連)	●9/23-26 TEPPEN-RIDE実施(宗谷SBWと連携)	●10月下旬 道北ブロック会議、道北フォトコン連携協議会、ルート協議会打合			●1月下旬 道北フォトコン連携会議			

ルート名称: 天塩川シーニックバイウェイ	報告者: 天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議	報告年月: 2019/4/24
----------------------	------------------------------	-----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に関わる事項	行政連絡会議・協働型道路管理マネジメント会議の実施			●6月中旬 幌加内協働型道路マネ検討会	●7月中旬 幌加内官民協働の除草作業実施	●8月下旬 上川北部協働型道路マネ検討会								※コロナの影響により開催時期等の延期、及び、書面による開催に変更などあり

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:天塩川シーニックバイウェイ	報告者:天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議	報告年月: 2021/5/11
---------------------	-----------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	令和2年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	自然環境と地域特性を活かした魅力ある景観づくり	そばの花ビューポイントの除草・清掃作業(幌加内)	7/17(金)	旭川開発建設部、幌加内町(住民、農家、観光協会、自治体等):計50名弱	地域で設定したそばの花のビューポイントのうち、国道275号において、沿道の除草作業を地域と時期を調整して道路管理者の機械除草を行った。時期調整により、同時期に雑草のない美しい景観が広がる効果が見られた。 また、実施区間の町道も含めた内容で「秀逸な道」として申請、2021年4月に認定された。今後は地域と協働で進められることを検討しつつ、より一層情報発信に力を入れる。	・官民協働での除草対策については、現在は全地域での実施ではないが、上川北部の他地域でも同様に展開できる可能性がある。 ・ルート(地域)の動向や意向をくみつつ、沿道の景観向上に向けて、必要な箇所をピックアップし、できることから優先順をつけて実施していきたい。	
地域	地域特性と歴史・文化を活かした地域づくり	TEPPEN-RIDEサポートライダーライドへの参加	<南部>9/21・22 ※旭川開建管轄エリア	きた北海道エコ・モビリティ、他	地域ガイド発掘・育成のためのサポートライダーライドに参加し、地域状況(資源・コース設定)を把握するとともに、コロナ禍での対策について地域と協働で検討した。	地域のみでは、内容によっては調整に困難で時間を要することもある行政連絡会議の関係機関や道の駅などとの連絡・調整は開発局の強みである。 日頃からルートとの密な情報共有を心掛け、ルートの取り組み等に合わせた情報発信などを心掛けていきたい。	T-1
観光	地域産業と特性を活かした広域的な観光空間づくり	きた北海道サイクルツーリズム連携協議会に関する資料作成・とりまとめ、会議等への参加	7月～3月	旭川開発建設部、上川総合振興局、天塩川シーニックバイウェイ、稚内開発建設部、宗谷総合振興局、宗谷シーニックバイウェイ、他	天塩川シーニックバイウェイを含む広域連携による「きた北海道サイクルツーリズム連携協議会」として、会議等資料作成の補助や検討結果のとりまとめ、関係機関等への調整などを行った。地域の取組・事業を踏まえつつ、よりよい受け入れ環境整備ができるよう、今後も地域と連携しながら活動支援を行っていく。	先進的な取組である「きた北海道エコモビリティ」において、取り組みの継続に向けた地域活動団体との密な情報共有を図り、内容により積極的に協力していく。	
その他		シーニックカフェ、シーニックデッキへの登録に関する協力	-	天塩川シーニックバイウェイ	本年度の実施はないが、ルートとの打合せの中で、シーニックデッキ等の登録を目指している意向がみられた。次年度以降に、候補となる箇所の確認等を行い、資料作成等の協力を行うとともに、登録後には情報発信などの広報等に力をいれる。		
		「道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト」の作品巡回パネル展による広報活動	7月13日～7月27日 駅前交流プラザよろーな 9月8日～9月28日 道の駅絵本の里けんぶち	旭川開発建設部・名寄市・剣淵町	旭川開発建設部は、駅前交流プラザよろーな(7月13日～7月27日)、道の駅絵本の里けんぶち(9月8日～28日)に、道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテストの入賞作品パネル展を実施し、たくさんの方にシーニックバイウェイの風景についてPRするとともに、ドライブ情報紙「シーニックバイウェイ」等も配布し、多くの方にSBWの取り組みをPRしている。		